令和８年度 第３回たかつコミュニティスクール 議事録	
日　　時	令和８年 11 月６日（金）９時 30 分～11 時 30 分
場　　所	神奈川県立高津支援学校 校長室
出　　席	学校運営協議会委員 8 名 事務局 12 名
問合せ先	副校長　古川　玉緒　　電話 044-865-4921（直通）

１学校長あいさつ

・本日のながれについて、会長からのご挨拶のあと校内見学で児童・生徒の様子を見てもらう。その後前回話し合った各部会の内容の中から「これはできる」という項目を洗い出し協議の時間をもつ。その後各係の中間評価をお伝えする。

・学校のようすについて、小・中修学旅行の様子を紹介。

２会長あいさつ

・特別活動は児童・生徒が別のチャンネルで活躍できる、これまでの学びを活かして活躍できる、大切なこと。

・学習活動の中で、児童・生徒が「何をして」「どのように変わって」「今後どのような活動につなげたいのか」を大切にした教育になるよう、本日もご意見ください。

３校内見学（２０分程度）

・給食コンテスト・学習発表会準備の様子・各学部の美術作品・行事のコラージュ等紹介しながら児・生徒のようすをみていただく。

４協議（●委員より　○事務局より）

●・前回各部会で話し合った内容からキーワードを拾い、高津支援学校で「できること」「やった方がいいこと」を協議する。

【まなび部会】

●・校長として大切なことは「教室を安全な場所に」「整理整頓」「わかりやすい教室」がキーワードになると考えている。

●・２０年前とは大きくかわり、先生方も頑張っている印象。

●・「何の教室か」がわかりやすくなるように、イラストやピクトグラムを入れた表示にするのはどうか。

⇒子どもたちにとって「わかりやすさ」はとても大切。

●・教室の整理整頓はとても大切。担任を問わず教室の物品が同じ場所に収納されている、誰もがわかるユニバーサルデザイン化を目指すのがよい。

・教員の働き方改革が呼びかけられ、「当たり前」を変えていく必要がある。

・先生方の元気さで生徒たちが生き生きとしている様子が伝わってくる。地域の力をかりながら良いところを伸ばしてほしい。

●・先生たちの元気のために「今困っていること」「先生たちがやりたいこと」は何かを洗い出して改善する必要もある。

◯⇒「やりたいこと」があっても「やらなければいけないこと」に追われてしまう状況。

●・これまでの慣習でやってきたけれど、「やらなくてもいいこと」の洗い出しや縮小、削減は取り組みつつある。今は業務精選に時間を要している状況ではある。今後バス誘導等、外部委託も検討していくべきだと思っている。

●・初任の先生方のサポートはどのように？

◯⇒初任の先生には「拠点校指導員」が１年つくが、臨時的任用教員や２年目以降の先生方へのサポートは課題である。今後「学部スタンダード」を作成し、年間指導計画のスタンダードを作成することで、その学年に応じたねらい、目標のスタンダードを明確にし、新しく高津に来た先生にもわかりやすくなるような工夫をしていく。

●・「働きやすさ」と「職場環境」は大事な視点。つながっている地域や外部人材も活用し、学びの充実が図っていけると良い。

【あんぜん部会】

●・校長として大切なことは「地域の訓練に参加」「子どもたちの自宅情報確認」だと考えている。

・登下校中に発災した際のスクールバス立ち寄り所は県立高校２校に依頼している。立ち寄り所について、子どもたちが校外学習で訪問する等の取り組みはまだしていない。

・ 県内他校では商店等にも依頼しているところがある。

●・自主登下校の子どもたちが立ち寄れる（助けを求められる）場所をわかりやすくしておく必要はある。

●・こども 110 番シールの認知を広げる。

・「たかつこども 110 番」制度をつくり、かけこみやすくする等の工夫も良い。

●・上作延町会でも「駆け込み寺」のような立ち寄り所の必要性は話し合われている。何かあった時により近くで助けを求められることが必要。

●・下作延小学校（地域の避難所）との合同防災訓練なども必要だと考えている。

●・下作延地区の消防訓練は 11/7（土）久地小学校で予定されている。これらの機会もぜひ活用して

●・防災はその時にいざ新しいことをしようとしても難しい。訓練の時に防災トイレや非常食喫食等の取り組みをするのはどうか。

・企業の防災訓練は消火器の使い方程度にとどまっている。宿泊体験等はしていないが、　　近隣提携で電気を供給してもらう約束はできている。

●・川崎市立小学校は全校「マンホールトイレ設置」のための工事を順次おこなっている。

●・施設では消防計画で訓練計画もたてている。現在は本当に停電になった場合、断水になった場合を想定した電気、水を全く使わない訓練も実施している。

【あそび部会】

◯・地域連携の構築、地域で立ち寄れる場所をつくる、地域に子どもたちの顔を知ってもらう取組として、前回の部会で出た地域の商店等に子どもたちが立ち寄れるような仕掛け（たかつのキャラクターカードを置いてもらい、配付してもらう等）を５０周年イベントとして計画している。らう等）を５０周年イベントとして計画している。

●・「いこいの家」に立ち寄ってもらって昔遊びなどをする機会がつくれるとよい。

◯・いこいの家併設の文化センターとは昨年、高等部の生徒が清掃作業をさせてもらう等のつながりがあった。

●・子どもたちが施設で歌や音楽等を発表するような機会も良いかもしれない。

●・小学校との学校間交流も進めていきたい。

●・南山小は交流のためにモルックを購入。ゲーム交流なども企画できる。

・他の小学校では平にある畑で食農体験等も行っている。

５中間評価

【教育推進】

◯・学部スタンダード（仮）学部で何を学ぶのか、授業内容を整えていく。量が多いので、数年かかる予定。

・教育内容、働き方も見据えてより良い教育課程を編成。

・スクールエンジンは新しいシステム。新しい物なので、間違えの内容、慎重に進めた。

・校内教育アドバイザーには肯定的に先生方の指導に意味づけしてもらうことで、先生たちの自信ややる気を引き出す方法で行っている。

【学習支援】

◯・スクールバスにGPSアプリを導入。アプリに運行状況がイラストでわかりやすく示させるため、登校便では子どもにとっても見通しをもちやすいツールになっている様子。

・来年度運行ルートは防災と紐づけて河川氾濫地域等も調べた上で設定していく。

・読み聞かせは担当教員が「楽しく」「やりがいをもって」を表現することで、子どもたちも楽しめ、先生たちへもいい影響があったと思う。

・食育の取組、栄養教諭の授業、子どもたちが考えたメニュー、子どもたちの宿泊学習先と結び付けた給食メニュー等、子どもたちにとって身近なものを取り入れていく。

【支援連携】

◯・進路、インターンシップ、現場実習のねらいや手続き、内容の整理をし、子どもたちにより学習効果があり、ねらいが定まった学習となるよう発信していく予定。

・学習会や研修、専門職巡回相談を通してより専門的なアドバイスや相談を実施。

・特体連、年７回参加。子どもたちに学びがあり達成感のある大会参加となるような工夫。

【学校管理】

◯・美化安全、防災スタンダードの完成。昨年度まとめた各学年の身に着けたい力に応じた具体的な授業内容やつながりのある教科をまとめた。

・AI に活用については、ルールを大切にした上での教材準備等のための研修を検討。

・マニュアルを整理し、ルールを周知することでより安全な会計業務を進める。

〇質疑応答（●委員より　〇事務局より）

●・特体連は現地集合？何人ぐらい参加？

◯⇒競技により現地集合や、学校からスクールバス移動等、集合方法は異なる。参加人数も大会や競技により異なるが T ボールの参加は多く 18 名。

●・PTA サポート制度として、学校でボランティアをするというかたちで保護者が参加するのはどうか、という話が出ている。PTA 役員としての仕事が難しい保護者も、ボランティアなら参加できる方がいるかも。

⇒学校としては受け入れできる。

●・内容によるので、丁寧に進める必要もある。

●・スクールバスＧＰＳアプリ校内運用とは？

◯⇒アプリで取得できる情報を校内の先生方に活用してもらえていない状況。どのような形でよりよく活用できるか検討中。

●・進路先に対して「進路先の情報をどこで取得すればよいか？」と質問されることがある。その辺りは学校で改善することができるのか。

◯⇒在住地域の進路先の情報を気軽に発信できるシステムは作りたいと考えているが、事業所、企業の情報発信となるため、発信内容や方法について検討が必要。

●⇒保護者が間違った情報（〇〇できないとグループホームは入れない等）を得ている様子が見受けられ、そのような勘違いをなくすには正しい情報発信が必要だと考えている。

◯⇒今年度も PTA 主催の進路講演会等の機会で情報発信は行っていく予定。

６校長挨拶

・今後につながる協議が行えた。今後も関係づくりを広げていきたい。

・中間評価についての意見も参考にして進めていく。PTA との連携や進路情報の発信についても校内で協議を進めていく。

７事務連絡

・第4回は 3/2(火)9:30～を予定。

・配付した資料(あそび場・学習発表会)お時間ありましたら是非お越しください。